

第113回城山地区まちづくり会議全体会結果

日 時：令和6年11月28日（木）
午後7時～午後9時50分
会 場：城山総合事務所本館2階B会議室
出席者：20名（欠席5名）
傍聴者：4名

1 開 会 内山所長

2 代表あいさつ 小島代表

3 報告事項

緑区観光振興プログラム骨子案について

緑区役所区政策課の職員より資料1に基づき説明がされた。

- < 主な質問等 > ○委員からの質問等 ●緑区役所区政策課からの回答
- リニア中央新幹線について、神奈川県駅から津久井地区鳥屋の車両基地までの路線を旅客線として広く一般に開放する予定はあるのか。観光振興プログラムにおいて重要なコンテンツになると思う。
 - 今回のプログラムは令和7年度から9年度の3年間についてのものであり、リニア中央新幹線の話はまだ先になるので、次回以降、新しい総合計画や観光振興計画を踏まえ考えていきたい。
 - 城山地区は、橋本駅周辺地域に入るのか中山間地域に入るのか。
 - 城山地区は橋本駅周辺地域に位置付けている。
 - 城山地区は、橋本駅周辺地域と中山間地域のどちらにも入っていない印象がある。
 - サイクルツーリズムについてどう捉えているのか。ツアーオブジャパンのみを考えているのか。
 - サイクルツーリズムについては、ツアーオブジャパンだけではなく幅広く他の地域やイベントについても考えている。
 - 基本理念に掲げている「やまなみの原風景を未来へつなぐまち 緑区」の意味が分からない。どういう意味なのか。
 - 中山間地域を抱えている緑区において、人の手がついていない自然を大切に将来に残していくという意味であるが、分かりづらいというご意見は参考にさせていただきたい。
 - このプログラムを作成する上で、観光協会には話を聞いているのか。

- 各地区の観光協会にお願いをして、ご意見をいただいて作成している。
- 具体的な個別の事業を想定したプログラムなのか。
- 個別の事業はこの段階では考えていない。限られた予算の中で可能な事業を実施していく予定である。

4 議 題

(1) 令和6年度城山地区まちづくりを考える懇談会について

ア 城山地区まちづくりを考える懇談会のテーマと内容

これまでの意見を踏まえ修正された資料3のテーマと内容について、事務局から説明がされた。内容について一部修正をすることとなった。

《 主な意見 》

- ・城山商工会では、災害に強い商工会づくりを進めており、災害時に商工会の会員が把握した被害状況を情報収集する仕組みづくりを検討している。
- ・各自治会に加え、学校においても防災訓練は日常的に実施しているので、記載の修正をした方が良い。
- ・2の公助の具体的な内容について、③として「避難行動要支援者に対する支援」についても追記した方が良い。
- ・「自助・共助がどこまで必要なのか」という表現ではなく、「自助・共助において具体的にどのようなことが必要か」という記載に変更した方が良い。

イ 城山地区まちづくりを考える懇談会の流れと役割分担（案）

事務局から資料4～7に基づき、懇談会の流れ、出席者、座席表等の説明が行われ、これまでの城山地区の懇談会の経過を踏まえ、まちづくり会議の委員だけではなく、自治会長も出席してもらうこととなった。また、当日の役割分担について、役員会における（案）のとおり承認がされた。

《 主な意見 》

- ・懇談の時間を長く取るために、昨年度と同様に城山地区の出席者の紹介を省略した方が良い。

(2) 城山地区で具現化していく取組について

全体会では、事務局から資料8、9に基づき、各部会での検討事項の説明がされ、全体会終了後に各部会に分かれ検討を行い、各部会検討終了後にそれぞれ解散となる旨説明があった。

(3) その他

平栗委員から、JAXAの取組みについての説明があった。JAXAが地域に根づいた存在になりたいという思いが強く、令和7年1月11日(土)城山もみじホールにて、音楽と宇宙のコラボレーションイベントとして「上(うわ)の宇宙(そら)クインテット コンサート」を実施する予定なので、多くの方に足を運んでもらいたい。パンフレットは作成中であり、事前申込み制である。

また、高齢者の運転免許の更新について、予約の電話が繋がりにくいとの声が多数上がっている。各自動車学校において、予約が取りにくい状況であることは確認したが、繋がらなかった場合は少し時間を置いてかけ直せば繋がることもあるので、諦めずに電話をしてほしいとのことであった。

5 閉 会 高野副代表

以 上

【全体会終了後の各部会での検討内容】

●高齢者とともに築き支える地域づくり部会

これまで部会で検討してきた「しろやま☆おせっかい」の取組として、おせっかいの輪を広げる「おたがいさまの縁づくり」を向原地区で実施したが、その振り返りを行った。また、1月実施予定の若葉台地区での実施に向けて検討が行われた。

《 主な意見 》

- ・向原地区で実施してウォーキングをした際、ゴミがたくさん落ちている場所があった。ゴミ袋を持ってゴミを拾いながら歩いた方が良い。
- ・若葉台地区の実施について、1月15日の地域情報紙では実施日の1月25までに自治会の回覧が回り切らないため、12月1日の地域情報誌に掲載すべく原稿を提出した。
- ・若葉台地区のチラシについては、12月25日までに納品されるよう原稿を作成して発注する。
- ・若葉台地区で実証運行をしているグリーンスローモビリティを実施日当日に運行してもらい、ウォーキングと並走させる予定。
- ・1月9日PM1:30に城山総合事務所に集合してチラシを配布する。下見は1月18日AM10:00から行う予定。

●子どもたちの主体性を育む地域づくり部会

これまで部会で検討してきた「あつまれ～しろやまっこ！」の取組について、12月7日の開催に向けた最後の内容確認を行った。

《 主な意見 》

- ・申込みは現状22名である。チーム分けの作業等もあるので、この22名で確定としたい。新たな参加希望があれば状況に応じて対応する。
- ・ゲーム参加者について、子どもたちの保護者や法政大学しろやまふれんずにも参加してもらい、計6チーム作りたい。
- ・チームで対戦をしてトーナメント方式で優勝チームを決めるのも良いが、全員に楽しんでもらいたいので、2チームずつ対戦した後、対戦相手を変えてもう1ゲームやるくらいが時間としてはちょうど良いと思う。
- ・チームごとに分かれた後、一番初めは自己紹介をし、その後は対戦ではなくチーム内で練習をしてモルックを楽しむ時間を作る。
- ・子どもたちから意見を聞く方法について、アンケート用紙に書いてもらう方法を取りたい。書く内容はなるべくシンプルなものとし、子どもたちがアンケートを書く際は、部会員や法政大学しろやまふれんずのメンバーが側について書き方を案内した方が良い。
- ・記録として写真を撮る予定だが、地域活性化事業交付金を活用している事業なので、市のホームページ等に写真が掲載されることになる。参加者には事前に了解を取る必要があるので、受付の際や最初の部会長あいさつの際に話をした方が良い。
- ・参加者同士でコミュニケーションを取る際、名前が分かった方が良いので、受付の際に養生テープに名前を書いてもらい、服の上に貼ってもらうこととしたい。

以 上

第113回城山地区まちづくり会議出欠席者名簿

任期: 令和6年4月27日～令和8年4月26日

番号	分野	団体名	役職等	委員氏名	出欠
1	地域関係	城山地区自治会連合会(会長)	代表	小島 盛生	出席
2		城山地区自治会連合会(副会長)	副部長①	林 和博	出席
3		城山地区自治会連合会(副会長)		中野 秀人	出席
4		城山地区自治会連合会(川尻小学校区)		井上 貢一	出席
5		城山地区自治会連合会(湘南小学校区)		西川 正行	出席
6		城山地区自治会連合会(広陵小学校区)		安西 忠義	出席
7		城山地区自治会連合会(広田小学校区)	副部長②	小原 貴弘	出席
8	保健・福祉関係	城山地区社会福祉協議会		井上 章	欠席
9		城山地区民生委員児童委員協議会	副代表	菅野 敬子	出席
10		城山地区シニアクラブ連合会		依田 和光	出席
11		相模原市赤十字奉仕団城山分団	部長①	宗田 眞理子	出席
12		城山地域包括支援センター		藤瀬 香理	出席
13	産業・経済関係	城山商工会		平栗 文夫	出席
14		城山観光協会		櫻井 かおる	出席
15	防犯・防災関係	安全・安心まちづくり推進協議会城山支部		小野寺 義行	出席
16		相模原市消防団北方面隊		田野倉 隆彦	欠席
17	教育関係	城山公民館運営協議会	副代表	高野 朝枝	出席
18		PTA連絡協議会城山ブロック協議会		田中 友紀	出席
19		城山体育振興協議会		松木 昇	欠席
20		城山地区小中学校長情報連絡会		鈴木 満博	出席
21		特定非営利法人 城山スポーツ&カルチャークラブめいぷる		片倉 理恵	出席
22		神奈川県立相模原城山高等学校		小松 巖	欠席
23	有識者		部長②	金子 直美	出席
24				八木 正夫	欠席
25				本野 直子	出席

①は高齢者とともに築き支える地域づくり部会

出席者数 20人

②は子どもたちの主体性を育む地域づくり部会

欠席者数 5人

第113回城山地区まちづくり会議 全体会次第

日 時 令和6年11月28日(木)

午後7時から

会 場 城山総合事務所本館

2階B会議室

1 開 会

2 代表あいさつ

3 報告事項

緑区観光振興プログラム骨子案について . . . 資料1

4 議 題

(1) 令和6年度城山地区まちづくりを考える懇談会について

ア 城山地区まちづくりを考える懇談会のテーマと内容 資料2・3

イ 城山地区まちづくりを考える懇談会の流れと役割分担(案) . . . 資料4～7

役割分担(案)

司会進行	高野 副代表
懇談の進行	小島 代表
テーマの説明者	菅野 副代表
閉会宣言	菅野 副代表

(2) 城山地区で具現化していく取組について(部会検討) 資料8・9

5 閉 会

<次回の予定>

第114回全体会	<u>1月30日(木)午後7時</u>	城山総合事務所 本館2階B会議室
----------	---------------------	---------------------



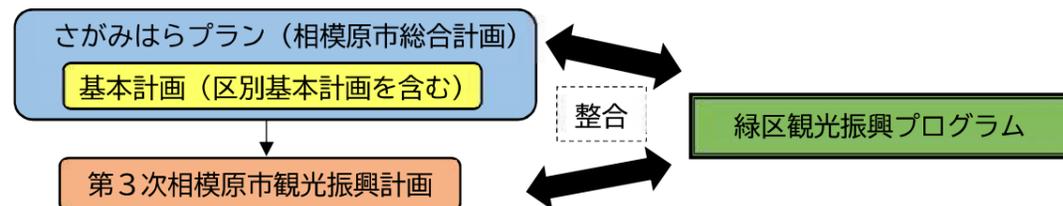
緑区観光振興プログラム(骨子案)

1 策定の目的

- ・さらなる地域資源の掘り起し、魅力の発信の推進
- ・観光振興によるシティプロモーションと持続可能な地域づくりの推進

2 本プログラムの位置づけ

「相模原市総合計画」や「第3次相模原市観光振興計画」等との整合を図り策定する。



3 対象期間

令和7年度から令和9年度の3年間。

対象期間以降は、関係計画と調整の上見直しを行い、取組を進める。

4 緑区の観光振興の取組内容

(1) 基本理念及び目指す将来像

緑区は、橋本駅周辺を中心とする都市部と豊かな自然を有する中山間地域という異なる特性を内包していることから、2つの地域がつながり合い、双方の魅力をより向上させる取組が必要である。

そこで、緑区の観光振興に関する基本理念および橋本駅周辺地域と中山間地域の目指す将来像を次のとおり定める。

【基本理念】やまなみの原風景を未来へつなぐまち 緑区

【橋本駅周辺地域の目指す将来像】

- ・リニア中央新幹線駅の開通を見据え、駅周辺から始まる観光コンテンツづくりが推進されるとともに、区の観光の玄関口としての機能が強化され、都市部と中山間地域をつなぐ観光拠点となっている。
- ・駅周辺から近距離にある里地里山や親水性を生かした地域主体の観光コンテンツづくりが推進され、それぞれが連携し相乗効果ははかられている。

【中山間地域の目指す将来像】

- ・都心から近距離にある豊かな自然や美しい景観を生かした体験・交流型観光の推進により、緑区の中山間地域の魅力が広く認知され、何度も訪れたいような地域となっている。
- ・住民が地域に誇りと愛着を持ち、持続可能な地域づくりにつながる特色が際立つ観光振興が進められている。

(2) 想定する取組の方向性

緑区においては目指す将来像に向け、本計画期間、それ以降の期間（中・長期）に分けて取組を検討し、進捗状況などを踏まえて取組を更新しながら進める。

【令和7年度～9年度】

- 体験・交流型観光の推進
- 点在する地域資源をつなぐ取組の推進
- 効果的な情報発信

【中・長期】

- リニア新幹線駅周辺・車両基地周辺の観光振興策の検討
- 都市部と中山間地域をつなぐ取組の推進
- インバウンド観光の促進
- 広域的な情報発信

目指す将来像

(3) 本計画期間の取組計画（令和7年度～9年度）

ア 取組方針

「地域の魅力を磨いて、つないで、発信する」



本計画期間では、目指す将来像に向け、地域の関係団体の皆様と点在する資源をつなぐことで相乗効果、波及効果を生むために、「地域の魅力を磨いて、つないで、発信」する。

イ 取組の方向性と令和7年度実施事業（予定）

取組の方向性	おもな取組	令和7年度実施事業（予定）
【方向性1】 ○地域資源を生かした体験・交流型観光の推進	中山間地域振興モデル地区事業の推進	・旧青根中学校利活用事業 ・休暇村センター利活用事業 ・小原の郷改修事業 ・小原の郷における体験プログラム実施事業
	観光客の受入の推進	・観光施設維持管理事業 ・サイクルツーリズムの推進 ・ハイキングコースの充実とハイカーの誘導 ・近隣自治体との連携
【方向性2】 ○都市と自然の魅力を活用し、点在する地域資源をつなぐ取組の推進	地域資源のパッケージ化・ストーリー化	・デジタルスタンプラリーの実施 ・緑区マップの作成
	関係団体等との連携強化	・関係団体等との意見交換会の開催 ・緑区の観光振興推進体制の検討
【方向性3】 ○マーケティングの視点をもった効果的な情報発信	ターゲットに応じた情報発信手法の検討	・効果的な情報発信に向けた研修会、勉強会の実施 ・SNSの効果的な活用
	ICTを活用した情報発信の強化	・モデルコース等を掲載したデジタルマップの作成 ・緑区特設サイトの充実

令和6年度城山地区まちづくりを考える懇談会の テーマにおけるこれまでの主な意見

1 主なアンケート結果（第110回全体会（令和6年5月30日（木）開催後実施）

分野	主な内容
地域づくり（1）	・地域社会の課題解決や地域コミュニケーションの更なる展開を、行政の助力のもと地域住民主体で解決していく活動・運動の担い手確保の為の仕組みや仕掛けの構築について
交通（2）	・安心安全で住みよい町づくりの一環として自転車道の整備について ・安全安心な主要幹線道路の整備促進「城山地区で最も危険な県道48号線（鍛冶谷相模原線）」

2 第111回全体会（令和6年7月25日（木）開催）の主な意見

- ・懇談会実施は賛成だが、テーマについて用意された回答を聞くだけでは意味がないので、双方が意見を交換できるようなテーマが望ましい。
- ・1時間半という短い時間で実施しているため、内容が希薄になっている。深掘した内容の懇談会にするには時間が短すぎるため、城山地区だけ時間を長くしてもらおう等の要望を出してほしい。
- ・懇談会において、テーマに対しての市の説明は、言葉と文章だけで分かりにくい。動画や写真を活用した分かりやすい内容にしてほしい。
- ・あくまで懇談会なので、課題の解決をこの場に求めるのは無理だと思う。懇談会を経て、協議会等を作るなどして具体的な課題解決に向けて取り組むべきである。
- ・防災に強いまちづくりをテーマにしても良いと思う。
- ・防災に関しては、公共ができることは限界があるため、公共に頼るのではなく、地域で自助・共助の力を高めることが重要である。
- ・城山地区にある市街化調整区域を見直す必要があると考える。今後の相模原にとってより良い都市計画にしてほしいので、テーマとして採用するのも良いのではないか。
- ・地域経済の活性化も重要な課題なので、テーマにするのも良いと思う。
- ・市として地域自治のあり方をどう考えているのか、市の立場、地域の立場で意見交換をしたい。
- ・相模原市は、津久井地域を除いて平らな土地が多いので、自転車道の整備に力を入れるべきである。現状では安全・安心して自転車に乗ることができる道が少ないので、渋滞緩和やエコの観点からも必要なことである。
- ・鍛冶谷相模原線の歩道が狭い問題について、懇談会のテーマにするかどうかは別として、要望として市に出しておくべきである。

3 第112回全体会（令和6年9月26日（木）開催）の主な意見

- ・鍛冶谷相模原線の歩道の整備の件については、質問事項というかたちで市担当部署に投げかけ、回答をいただくこととしたい。
- ・前回のまちづくり会議の中で「防災」をテーマにしてはどうか、という話が上がり、役員会の中でもそのような意見でまとまったが、今年のみちづくりを考える懇談会は「防災」をテーマにすることよろしいか。
⇒異議なしの声

城山地区まちづくりを考える懇談会 「地域の未来を語ろう with 市長」テーマ（案）

■地区のまちづくりに関して、地区でテーマを設定する(二つ以内)。

- ① 現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。
② 今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

■テーマの概要・内容

概 要	城山地区における防災対策について
内 容	<p>近年、台風やゲリラ豪雨等による水害、南海トラフ地震等の震災のリスクが高まっており、激甚化する災害に備えなければならない。</p> <p>災害が発生した場合、行政が担う「公助」が最も重要であるが、大災害であればあるほど、行政機能の麻痺が想定され、住民への迅速な「公助」を期待したいところではあるが、難しいであろう。「公助」が届くまでの間、自分自身の命や身の安全を図る「自助」、地域コミュニティで相互に助け合う「共助」が必要になってくる。</p> <p>そこで、本年度の懇談会では、城山地区において必要な防災対策について、次の内容で懇談をし、市と地域住民が一体となった防災対策を考えたい。</p> <p>1. 城山地区における災害リスクについて 地震災害や風水害について、広く一般的な防災対策ではなく、城山地区で特に気をつけるべきこと、他の地区に比べて発生リスクが高い災害等、市として考えている城山地区の災害リスクを伺いたい。</p> <p>2. 災害発生時の公助と自助・共助の内容について 災害が発生した際、公助と自助・共助が連携することが重要であるが、次の場合に市が想定している公助の具体的な内容を伺いたい。</p> <p style="margin-left: 20px;">①道路が寸断された時の輸送経路の確保 ②ハザードマップ上の危険区域に住んでいる住民の被災時における行動</p> <p>また、その公助の内容を踏まえた上で、自助・共助がどこまで必要なのか、意見交換を行いたい。</p>
担当部署	危機管理課

■上記テーマに関する地区の取組状況等

取組状況	・各自治会により積極的に防災訓練を実施している。
------	--------------------------

■地域トピックス（既存の関連資料等がある場合にはご恵与ください。）

地区の課題（テーマ以外にある場合）、アピールしたい点、工夫している点、良いところ、現在取り組んでいる活動など、市長があいさつで触れるべきこと、または触れてもらいたいこと。

令和6年度 城山地区まちづくりを考える懇談会
「地域の未来を語ろう with 市長」次第

と き 令和7年1月16日(木)
午後6時から
ところ 城山公民館大会議室
司 会 高野副代表

1 開 会

2 出席者紹介

3 城山地区まちづくり会議代表あいさつ

4 市長あいさつ

5 懇 談【懇談進行／小島代表】

テーマ 城山地区における防災対策について

6 閉 会

令和6年度 城山地区まちづくりを考える懇談会
「地域の未来を語ろうwith市長」出席者名簿

資料5

番号	区分	分野	団体名	役職等	出席者氏名
1	まちづくり会議	地域関係	城山地区自治会連合会（会長）	代表	コジマ 盛生 小島 盛生
2			城山地区自治会連合会（副会長）		ハヤシ 和博 林 和博
3			城山地区自治会連合会（副会長）		ナカノ ヒトシ 中野 秀人
4			城山地区自治会連合会（川尻小学校区）		イノウエ コウイチ 井上 貢一
5			城山地区自治会連合会（湘南小学校区）		ニシガワ マサユキ 西川 正行
6			城山地区自治会連合会（広陵小学校区）		アンザイ タカシ 安西 忠義
7			城山地区自治会連合会（広田小学校区）		オハラ タカヒロ 小原 貴弘
8		保健福祉関係	城山地区社会福祉協議会		イノウエ アキラ 井上 章
9			城山地区民生委員児童委員協議会	副代表	スガノ ケイコ 菅野 敬子
10			城山地区シニアクラブ連合会		ヨダ カズミチ 依田 和光
11			相模原市赤十字奉仕団城山分団		ソウダ マリコ 宗田 真理子
12			城山地域包括支援センター		フジセ カオリ 藤瀬 香理
13		産業経済関係	城山商工会		ヒロクリ フミオ 平栗 文夫
14			城山観光協会		サクライ カオル 桜井 かおる
15		防犯・防災関係	安全・安心まちづくり推進協議会城山支部		オノテラ ヨシユキ 小野寺 義行
16			相模原市消防団北方面隊		タノクラ タカコ 田野倉 隆彦
17		教育関係	城山公民館運営協議会	副代表	タカノ アサエ 高野 朝枝
18			PTA連絡協議会城山ブロック協議会		タナカ ユキ 田中 友紀
19			城山体育振興協議会		マツキ ノボル 松木 昇
20			城山地区小中学校長情報連絡会		スズキ ミツヒロ 鈴木 満博
21			特定非営利法人 城山スポーツ&カルチャラブめいぷる		カタクラ リエ 片倉 理恵
22			神奈川県立相模原城山高等学校		コマツ イワオ 小松 巖
23			有識者		
24					ヤギ マサオ 八木 正夫
25					モトノ ナオコ 本野 直子
26	自治会	城山自治会(会長)		アンザイ カツマサ 安西 勝正	
27		谷ヶ原自治会(会長)		ミヤザキ マサノリ 宮寄 雅則	
28		原宿自治会(会長)		カンドウ ハジメ 神藤 元	
29		小松自治会(会長)		ヤナガワ マサユキ 柳川 雅之	
30		城北自治会(会長)		オオヨウ タケン 大用 武	
31		葉山島自治会(会長)		ナカサ サトル 中里 寛	

令和6年度城山地区まちづくりを考える懇談会 「地域の未来を語ろう with 市長」 全体の進行

(司会進行:城山地区まちづくり会議高野副代表)

■開会

- 1 懇談会開会の宣言 (城山地区まちづくり会議高野副代表)
- 2 出席者の紹介
- 3 城山地区まちづくり会議小島代表あいさつ
- 4 市長あいさつ

■懇談開始 (まちづくり会議代表による進行)

※懇談の視点:「市がやるべきこと」、「地域でできること」、「協働でできること」とは何かという視点から「対話」による懇談を進める

- 5 テーマの概要及び地域での取組状況等の説明
(まちづくり会議から、パワーポイント、資料等を用いての説明も可): 5分程度
- 6 テーマに関連する区や市の取組み等について説明
(区長・局長・部長): 5分程度
- 7 テーマについて懇談: 40分程度

・一通り懇談が終わったら、進行役のまちづくり会議代表より、地区でできること、市がやるべきこと、協働の視点など、まとめを含めあいさつを行う。

(全体の感想、今後の地域の取組の方向など、懇談会のまとめを行う。)

■懇談終了

- 8 市長感想 (全体の感想、地域への支援、今後の市の取組みの方向など)
- 9 懇談会閉会の宣言 (城山地区まちづくり会議菅野副代表)

高齢者とともに築き支える地域づくり部会 検討事項

- 1 川尻小学校区（向原地区）おたがいさまの縁づくり（11月23日実施）について
 - ・意見

 - ・反省点

 - ・次回に向けた改善点

- 2 広陵小学校区（若葉台地区）おたがいさまの縁づくり（1月25日実施予定）実施方法の検討
 - ・参加者募集チラシ

 - ・日時、場所、ルート等

 - ・その他

令和6年度 まちづくり会議 子どもの主体性を育む地域づくり部会
「あつまれ～ しろやまっこ！」 検討事項

1. 令和6年12月7日(土)のイベントの実施要項
(チラシ、地域情報誌などの内容に関わる) ⇒ 済
2. モルックのゲームについて ⇒ 要検討
 - ・ルール
 - ・チーム分け
 - ・対戦の仕方 他
3. 予算 108000円 支出の部の項目、内訳について
 - ①報償費 謝礼…法政大学しろやまふれんず、狩俣さん〔チラシ作成〕
 - ・参加した学生さん(交通費補助)
 - ・津久井レクさん
 - ②消耗品費 事務用品等
豚汁関係
 - ③印刷費 チラシ1400枚 ⇒ 済 3465円(手数料195円含む)
 - ④食料費 参加賞(お菓子)
 - ⑤委託料 豚汁提供委託(材料費含む)…大参しげみさん
救護…看護師 平井さん
 - ⑥備品借上料 プロパンガス、コンロ
 - ⑦保険加入料 イベント保険…片倉さんに依頼
4. 備品(借用)
 - ・テーブル、椅子(受付、救護、配膳、ゲーム用等)
 - ・マイク等音響機器
 - ・ブルーシート
 - ・メジャー
 - ・ラインカー、石灰
 - ・テント(救護用)
 - ・モルック、得点板…向原、町屋自治会さんから借用

- ・鍋、お玉、菜箸
5. 消耗品
- ・事務用品…
 - ・豚汁用…お椀、はし、ごみ袋、(雑巾)
6. 広報
- ・チラシの作成⇒小学校4校、各自治会、公民館、子どもセンター
法政大学に配付済み
 - ・地域情報誌 11/1号 ⇒ 9月上旬までに原稿提出
 - ・4校にモルックの体験会を実施
7. 参加した子どもの意見の取り方 ⇒ 要検討
8. 会場について(体育館も) ⇒ 要検討
- *事前に実際に現地で確認が必要 → レイアウト作成
 - ・受付場所
 - ・参加者の集合場所
 - ・モルックの場所(競技用、練習用)
 - ・豚汁用のスペース(配膳用、食べる場所)
9. 当日のスケジュール ⇒ 要検討
- ◎会場設営
 - ①受付 9:30~
 - ②開会 10:00~
 - ・説明→練習→ゲーム→結果発表
 - ・豚汁
 - ・聞き取り、アンケート
 - ③閉会 12:00 参加賞(お菓子)の配布
 - ◎片付け
10. 事前、当日の役割分担 ⇒ 要検討
11. その他
- ・地子連さんとの関わり